

# WATCH THE NEWS

取材・文 単刀直入 金子



MONDO GROSSO

INTERVIEW

## 音と音、個性と個性がぶつかりあひつゝ日本発進曲ヒット、ついに世界へ。

MONDO GROSSOのメンバー、大沢伸一、中村、メトロ、シャス、マッシュウ

京都のタンク・フロアーから飛び出して、その名の通りインターナショナルな活動を本格的に開始し始めたサウンズ・ユニット、モンド・グロソ。本物のジャズ・メン、本物のヒップ・ホッパー、そして本物の酔っ払い愛のぶつかり合いでクリエイトされるそのサウンドがジャズかどうか、もしそんなバンドはたまたまいていい。とかがかかると二人

セメンはなし、という彼らの近況などについてリターナーでヘーシスト、そしてプロデューサーの大沢伸一、rapperのBANDU、サックスの中村雅人にインタビュー。

メンバーが3人になったんですね。大沢「ええ。ライブの時は8人位になるんですけどね。半本動的なメンバーがこの3人というだけで、もうJAZZモンク・ロックンロールというのはバンドというが、出入りの激しいプロジェクトなんです」

1stアルバムですが、コンドレーション形式なんですよね。大沢「モンド・グロソってこのアルバム上ではバンドという解釈じゃないんですよ。簡単にいえばSOUL JAZZバンドかと思って頂いて、すぐくっついて来いなくて例えるなら僕がジャズ1人で思っています。散えて名前を分けたのは余りにも食い散らかしてという部分で、モンド・グロソの音楽性という意味ではおぼろげなわかつても他のものに関してはモンド1名義だ。他のものに関しては別の曲を僕が作曲して、このアルバムはモンド・グロソとして参加したアーティストのBEST JAZZ COLLECTIONなんです」

基本的にはメンバーというバンドメンバーはひとつと解釈できますし、あとは聞いてもらった受け取りですよね。そういうスタイルもだし、歌詞がフランス語だったり英語だったり、日本語はナシだし、やはり意識のベクトルが海外に向いているとされますよね。大沢「rapperのBANDUがフランスとアフリカのハーブで、英語も日本語も仏語もほぼ同じレベルでできてきて、たまたま今回は日本語がなかっただけで、可能性としては今後充分やっつけていきたいと思っています。海外への意識は全くその通りです。でも別に日本がダメっていう意味合いじゃなくって、リスナーの一人として、最近の洋楽の聴き方って変わってきてると思うからすごく自然というが、逆にそういうことを説明してしまう方が意識として後退してしまうように思っています」

京都の人達にとってモンドはメトロで出逢ったバンドという印象は多少でも強いと思うんですけどどうですか。大沢「僕らが育ったのはやっぱり京都のメトロやし、今も京都に残ってるメンバーがメトロですってやっつて、KODOL・T.O・C.O.C.O.D.T.というバンドがなかったら、ね。京都で、メトロで1年間そうしてやっつてこれたのは嬉しいですね」

中村「月イチで京都のMUSIC HALLで開かれて、お客さんをもつてくれたことは、ブルースやロックじゃないですけど呼べるもんがあったから良かった。MUSIC HALLの個性を見出された。言葉もちゃんと聴けようとしてるのをやっつていこうか。聴かへんやん

中村「今も色んなDJ選がやっつてみたいだし、いわゆる音のブルースとかでいう探検や検定の意味を持つてると思っってます。せやがそんな大膽なことをいけて、自分分のいた店やし書いていく」

大沢「京都はそういう意味で純粋な人が多いですよ。今以上に僕らはキョート・ジャズ・マッシュウを掲げてやっつてますからね」

8月にスエーデンの東西ライブがありましたが、京都のファンの方に一言。大沢「一回り大きく強くなったことを見ても思えます。腰砕けるまで踊ります自信ありますから」

BANDU「カノオナ毎日行って人でもその日はハイハイの親に来てます」

中村「東京の人にグルーブを教えたほしいと思っつね。ないよ、あーいうグルーブは」

● 2005年5月7日(土) 7:00PM / 中村のライブ「MONDO GROSSO」

● 2005年5月7日(土) 7:00PM / 中村のライブ「MONDO GROSSO」

● 2005年5月7日(土) 7:00PM / 中村のライブ「MONDO GROSSO」

# ANNA BANANA

INTERVIEW



↑「ハイティーン」アンナ・バナナ 3,000円(税込) BMGビクター

## 一枚の恋愛ヘーロー素直でリアルな「H-G-ROCK」

オリジナルティ溢れるメロディとホーカルが魅力のアンナ・バナナはソウルが大好きな、ジャズをBMGに育ったという日系アメリカ人アーティスト。彼女の5枚目のアルバム「ハイ・タイム」は、プロデューサーにオリジナル・ラヴの田島賢男を迎え、ソウルフルでファンキーかつシャシーなポップスを実に気持ち良く聴かせる。このリアルなアンナ・ポップスの魅力とは?

— アルバムの準備はいつ頃にか?

「主にこのアルバムのための曲作りをしていたのは昨年夏だったんです。本当はもっと早くレコードを出せる状況だったんですが、心の準備ができてない時に出しちゃうのはよくないかなと思って、精神的にいい時期を待った。昨年は、音楽に対してというよりも、私生活において今から振り返ると本当に大きな変わり目だったんです。すごく自分が素直になりたいとか自分らしくなりたいとか、この業界で、リアルでいられるっていうのはすごく難しいことになっていくのがわかってきたのね。それにぶつかり合っていて、でも絶対リアルでありたいっていうカンジだ。そういう曲いっぱい入ってます」

— すね、女性の人生の中のある瞬間を経験した後の歌って愛憎劇ですかね。

「照れ隠し。私のフライング・ライヴを聴いてるみなさんでやだなさ。当然フライング・ライヴを元にしてますけど、その曲ってこのじやなく、多分全体を聴いて、人生の旅をしてるカンジがらじやないかな。『レインボウ』も昨年既にあった」

文 早川加奈子  
写真 SIXTY、BMGビクター

「というよりも、それが曲という形で出てくるんです。例えば4ティーン・イズ、ユア・ウェイク・アップ・コールは何か辛いコトがあるとなかなか起き上がれない時期ってあるじやないですか。で私はもうそろそろ目を覚まさないやと思ってる時があつて。例えば眠ってる時に電話が鳴って電話のベルが聞こえるじやない? 面白いと思いつながらも出るよ、未来の自分の声だったりする。歌詞にも入ってるんですけど、その未来の自分がすごく素敵なの。だからちゃんと早起き上がったらかういう風になりますよというカンジでアイデアが浮かんできた」

— そういう誰かなものがあった時に、田島賢男というトビトに会った!?」

「まじかもしれない。彼と知り合いたったのは車上でなくてラウンジニューヘヴィースのコンサートで出会って。オリジナル・ラヴについてはちょっと知ってた、ちょっとね。そのソウルとかポップス感覚とかにすごく近いものを感じて。あと新しいものもね。そのコンサート時に、私ファンですとか書いて。当然音楽の話になって。何より彼のやり方と私のやり方って似てる気がしたの、手作り感というか。で昨年書きためた曲をデモテープにして彼に送ったので、気に入ってくれてプロデュースしてくれることになったの。でももし彼が私の曲を気に入ってくれなかったら、彼がプロデュースしたい曲を聞いても断ったと思う。偉そうに言っちゃおう。オリジナル・ラヴのセンス、歌詞にしても作詞家が

書くパターン化されたものじやなく、1曲1曲と、言葉はよく、自分に近いものを聴いたの。たけと別にオリジナル・ラヴと同じようなことをやりたいと思わなかったのね。自分の曲や考えを彼のフィルターを通して表現できたやと思ってる。とにかく今度で最高に楽しんでスムーズなレコーディングでした」

— アルバム全体の印象に「LOVE」をすごく感じるんですか、その中に裸でハイ・タイムするっていうカンジですかね。歌詞にもそういうリリースができてますよね。

「いいことを言う。裸だしね。あといつもビュアな「LOVE」って何だろうなっと思ってたりする。全く男の人に対しての「LOVE」だけじやなく、男女を越えた「LOVE」も考えたい。でも本当にハイ・タイムして良かった。美味いフルーツが欲しいのは枝の先まで行かないと手が届かない、という癖があるんですけど、本当に今度もそう、私はすごく思われているのが例えリリースキーでもいいなと思っって手を伸ばしたことで必ずラッキーなことがある。田島さんと最初は初会し知らない間話だったの、リリースキーかなという気もしたんですが、結果的に正しかった。やっぱりたまには安定したとこにいでもリリースキーなことをした方がいいコトが返ってくるよな気がした。アルバムに関することでもあれば、人生に対しても、どうやって生きてるか、とか幸せを掴むか、前向きにいられるかっていう。ね。絶対簡単なことじやないけど、やっぱり頑張ったかむものかなと思えます」

今月の

これを  
聴かないで  
どうする!!

By 永岡正直 (原研商店長)



B.B. KING / BLUES SUMMIT ¥1,890

キング・オブ・ブルース! B. B. KING が地元メンフィスから届けてくれた最高のブルース・セッション! ひたすらにグレイトな一枚です。



UB 40 / PROMISES AND LIES ¥1,890

エルビスのカバー曲「CAN'T HELP ~」を収録した久々のニューアルバム。プリティッシュ・レゲエの醍醐味がたっぷり味わえる買の好盤。

**BACK TO  
SCHOOL  
MUSIC  
SALE**

**8.26 (THU)  
- 9.8 (WED)**

レッドとグリーンタグで表示されたバジェット商品約1万タイトルすべてを、さらに¥200オフ。たとえば¥1,750のレッドタグ商品なら、セール中はなんと¥1,550のお買い得プライス! 歴史的名盤や必聴盤をスラリ揃えるチャンスです!

京都店

河原町ビブレ6F Tel. 075-212-7058  
OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 8:00

大阪店

心斎橋アメリカ村 Tel. 06-211-2997  
OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 9:00 (土日のみ10:00 OPEN)

**TOWER  
RECORDS**

L.A. CHICAGO BOSTON NEW YORK LONDON  
SAPPORO SENDAI NIIGATA CHIBA  
IKEBUKURO SHINJUKU SHIBUYA HACHIOJI  
YOKOHAMA KAWASAKI NAGOYA  
KYOTO OSAKA HIMEJI HIROSHIMA

No.1 Book of



Dutch life  
vol. 3

"Ameyaaa mm  
maaniaaaaa....."

TOWER RECORDS 企画



音楽、唄、振り付けにコシミハル、パフォーマンスに嶋田久作というキャストで話題を呼んだ鮎屋法水、構成・演出、ダッチライフVOL. 3「ドナドナ」。機械、少年或は少女くらいしか出てこない彼らしい(!?)演出によるこの演劇は、東京のみの公演であったが、今回約5年振りに大阪で彼の活動を目のあたりにすることができるというわけだ。17歳で唐十郎主宰の劇団状況劇場に参加して以来、演劇、そして美術の分野で(或はそのどちらでもありどちらでもない分野!? ということべきか)活躍する鮎屋氏。去る今年2月にはマリアアートショウでダッチライフシリーズのVOL. 2としてテクノクラートの個展「JUNKY・FOOD」を開催。食品添加物のみを用いて調合したカプセルを作品として提示、冷蔵庫やプラスチック・バッグに詰められた飲料なども設置された。オープニングパーティではそれら添加物のカプセルが鮎屋氏自らの手で観客に配られ、人々はそれを食べたそうな(何とも身体に悪そうだな)。今回大阪で行われる予定のインスタレーションの具体的な内容についてはまだ明らかにされてはいないが、まあ一見一考の価値アリのものだということだけは間違いなさそうだ、と言っておこう。

鮎屋法水インスタレーション  
ダッチライフVOL. 4  
カミング・アウト

4月のFM802のヘビィ・ローテーションになったシングル「君と約束した場所」も収録の2ndアルバム「虹の彼方に」を8月にリリースしたシンガー・ソングライター、熊谷幸子。透明で細く優しい歌声と、独特のメロディ・ラインと、ちょっぴりオリエンタルなシンセも聴こえる彼女の世界が、また一歩前進したような今作についてインタビュー。

——曇り空の朝にこのアルバムを聴いてたら、パッチリ合うんですね。

「聴く人によってはお天気のいい、爽やかなカンジって言われるんですけど、児島未散さんが『曇り空とかどんよりした天気の時聴くと気持ち良かったんです』っておっしゃってました。意外とインナーな部分というのが私の中にあると思うんですね。何か声が清々しかったりすると爽やかというイメージがあるのかもしれないけど、もうちょっと深く聴くと、そういう天気っていうのも合うのかもしれない」

——歌詞から、どうしても時間的なものを意識してしまうんですけど、時間を越えての様々なシチュエーションを。「自分では余り意識したことはなかったんですけど、恋愛でも何でもドロドロしたものを終えて時間が経ってちょっと協力/雪母社、東芝EMI

と客観的な部分でその頃をみられるっていうのが好きだったりしますね。今現在じゃなくてちょっと時間をおいたりして。アルバムのコンセプトにもなってるかもしれないですが、ポジティブなカンジなので、視点が多少先の時間を見てたりもしますね」

——プロデューサーである松任谷正隆氏が校長を務める音楽学校マイカ・ミュージック・ラボラトリーの、熊谷さん同様卒業生である障子久美さんがコーラスアレンジに参加されていますね。「プライベートでも友達なんです。彼女はすごくコーラスに長けてる人なので、どんな形でもいいから一回参加してもらいたいと思ってたんです。彼女と私の声質って水と油みたいに合わないと思ってたんですけど、こうやってみると結構合ってるなっていうか、ね」

——9月にライブがありますね。「自分だけのライブっていうのは初めてなんですよね。どういう風になるのかっていうのは不安だらけなんですけど、ライブはアルバムでは聴けない、楽しめるものになりたいなと思います」

## 熊谷幸子インタビュー 未来も過去も越えた彼方に。



↑9月10日金7:00PM〜/クラブクアトロ/¥3,090円(1口付)/  
※キョードー大阪#06・345・2500



「虹の彼方に」熊谷幸子 3,000円(税込)/東芝EMI

## Y.P.F.インタビュー 心地良いラヴアースに乗せて。

時代の音を創造するサウンド・プロジェクト、Y.P.F.。グローバルな視点で常に新鮮でクオリティの高い音作りをめざせるこのプロジェクトが、FM、F.U.J.とのコラボレーションで、地球上の愛し合う恋人達のためのアルバムをリリース。このラヴアース・モーメント。についてY.P.F.の核、シミズヤスオ氏にインタビュー。

——シミズさんは、岩城隼一さんと共SHIHOさんのプロデュースもされましたが、ヒトの作品に携わる時にも常に将来の自分の作品は念頭に？

「ヒトのことをやっても自分が関わっちゃうと結局その中に自分の血が注がれるじゃない？そうするとやっぱり関わった作品は気になるわけだからね」

——アルバム中の曲のセレクトはすごく若い人々それ以上、またそれ以上の人も聴き飽きがあるような心地良さですね。

「これを何で作ったかっていうとね、エイベックス・トラックスからシリーズで出てくる『ソング・フォー・ラヴアース』というカバール集を作ってたからなのね。で5年前に一人でジャマイカに行った時、たまたま泊まったホテル

で見つけた結婚式でね、ジャマイカ人の新郎新婦の友達みたいな人がさ、いきなりグローバー・ワシントンJrの曲をレゲエで始めたわけ。それを見て感動しちゃって。映画観てるみたいだななんて。原曲はフュージョンみたいな曲なのに、それをこういう風にやってるって感動しちゃって。そしてこんな風なアルバムを作ろうってすーっと思ってる。その昔ロンドンに住んでたからレゲエってのはすくすく当り前だったわけ、割と。でもジャマイカでそれを見て、とにかく一年中必要性のある音楽を作りたかったわけ。でエイベックスのシリーズを聴いたFM、F.U.J.の人からFMの5周年にそういうものをもって依頼があつて、で売り上げ金を環境保護に寄付しようって話になってOKしたんだけどね」

——やはりいちばんの音楽的バックグラウンドはロンドンってことに？

「そうでもハード・テクノも作ってるだよな。『テレフォン・オペレーター』とか(笑)」

協力 日本コロムビア

↑「Precious Moment」Y.P.F./3,000円(税込)/日本コロムビア



『シングルス』『野生の夜に』  
いよいよ上映の話題作2本。

話題の映画が目白押しの中。まずはファッション業界からも注目を集めた映画『シングルス』から。既に広く知れ渡っている「グランジ」という言葉。だらしのない、とか汚らしいという意味を持つこの言葉は、ニルヴァーナやダイナミックなギター・サウンドに当てはめられる言葉である。このグランジの発祥地といわれるアメリカ、シアトルを舞台に、90年代の若者のストリート・ライフを描いた作品がコレだ。そもそも何でシアトルがグランジの発祥地かというと、サブ・ポップというこのテの名門であるレーベルがあり、ここからマッド・ハニー、アリス・イン・チェイン、スマッシング・パンクキッズ、パール・ジャム、サウンド・ガーデン、といった今をトキメクバンドが飛び出したからである。そしてこれらのバンドの音がそっくりサウンド・トラックとして再現され、サウンド・ガーデンとアリス・イン・チェインがライブ・シーンを披露しているこの映画。実にストリート感溢れ飛び散る作品なのだ。恋のために豊胸手術までしちゃうひたむきな女の子ジャネットとロック・シンガーのクリフ、そして独身が一番がモットーのステイヴと男性不信OLリンダ。この2組のカップルを中心に、彼らの今を生きるざり気ないライフ・スタイルが描かれたこの映画、グランジとは？を知る上でも興味深い。けなげな女の子ジャネットに『アサシン』の主演で今最も期待される女優ブリジット・フォンダ、カックイー長髪のロックカー、クリフにマット・ディロンが出演。巷に横行するネオ・ヒッピーを気取ったリッチな「グランジ・ルック」なんてメじゃない、ホントのグランジ・ライフとファッションがキマっているのだ。長髪といってもエグヨウのアンちゃん(江口洋介)でも、渋カジでもない、そこんところをじっくり研究するといいたいだろう。同時上映『マンボ・キングス』。

そして93年のセザール賞を総ナメした感ある故シリアル・コラール監督の話題作『野生の夜に』がいよいよ京都にやって来る。既にあらゆる雑誌やTVなどのメディアで紹介されつくしているこの作品は、カラックスが「汚れた血」

で触れていたエイズの問題を、さらに深くリアルに描いた、といった印象だ。30歳の青年ジャンは人を愛することができないバイセクシュアルのエイズ・キャリア。彼が、17歳の純粋な少女ローラに出会い恋におちる。純真な彼女にエイズ・キャリアであることを告げられないまま、2人は結ばれてしまう。後になって事実を知らされ、ローラは大きなショックを受けるが、それでもジャンを愛し続けようとする。だがジャンはそのひたむきな愛にどう応えてよいか分からない。やがて…。まだエイズに対する知識がそれほど流通していなかった86年のパリを舞台に、エイズという死の恐怖によって真の愛と生きていることの大切さを、見事なテンションで描いたこの映画の監督、そして主演のシリアル・コラールは御存知のように、今年3月に、エイズのため他界した。そんな彼とその作品を讀めるような、第18回のセザール賞授賞式だったという。シリアル亡き今、彼が原作、脚本、そして音楽も担当した自伝的作品であるこの映画のあらゆるシーンの一つ一つ、台詞の一つ一つが、倍のスピードで説得力を帯びるだろう。だからといって感傷的な観方をするのは、シリアルの意に反することじゃないだろうか。エイズというどうしようもない現代の病のひとつのみをクローズ・アップするのも何か違うものだ。これは、逝ってしまったシリアル・コラールが私達に残した真の愛と生きることへの賞賛に満ちた遺言なのだ。できれば今を生きるための座標として味わいたいものだ。何しろ作品には絶望的な暗さなんてない。ただ残念なのはこれがシリアルの、日本でのデビュー作にして遺作になってしまったということだ。主演は他にロマーヌ・ポーランジェ。シャルロット・ゲンズブールの初期に共通するピュアな魅力が光った女優だ。父に『ディーバ』や『コックと泥棒、その妻と愛人』などでお馴染みの、歌手としてアルバムも出してるリシャル・ポーランジェを持つサラブレッド。この辺りもシャルロットとダブってしまう彼女は、この映画でセザール新人女優賞を受賞した。



◆『シングルス』(同時上映『マンボ・キングス』)  
日水(17日)金(18日)のみ全館 前売1,400円  
※のみ全館 075・661・6661



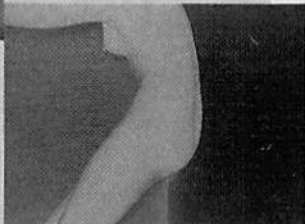
◆『野生の夜に』(9月18日土(19日)のみ全館)  
前売1,400円/のみ全館 075・661・6661



© Karel Fonteyne/Prinz



© Bruno/AVGVSTE



© Kaoru Ijima



© Philip Dixon/D.O.G INTERNATIONAL INC.



© Noboru Morikawa

## 瞬間のリアリズムがそこにある。 '90年代のファッションシーンを映像が捕えた。 神戸国際ファッション写真展'93

写真が生み出すものは、つねに時代という歴史の証拠である。そこにあるのは「今」であり、ファインダーを覗くという行為は一種の目撃者になることであるといえる。

そしてここに、20世紀が生んだ最もスリリングな映像表現といわれる「ファッション写真」というジャンルがある。モデル、デザイナー、スタイリスト、ヘアメイク、アートディレクター、エディターなど、これらクリエイティブな才能と努力によって造り上げられた被写体に向かって写真家はシャッターを切る。ファッション写真が映したすものは現実



© Katsuo Hanzawa

よりはむしろ虚像だ。緻密な計算とセンスによって造り上げられ生まれた美。そこには1ミリの狂いも見られない。しかしシャッターを切り終えた瞬間に、レンズの上にかすかな残像だけを映してそれらはすでに過去のものとなるのだ。でもだからこそ、虚像はより瞬間のリアルさを増して我々の目に迫ってくるのである。

現在、神戸で開催中の「アーバンリゾートフェア神戸'93」の一環として行わ

れている「神戸国際ファッション写真展'93」にて、写真という武器から生み出される天才的ひらめきに満ちた美の結晶を見ることが出来る。今回が2度目となるこのイベント、第1回目は日本真珠会館によって行われ好評を博したが、今回は会場をポートアイランド・ファッションタウンへ移し'90年代のファッションシーンをリードする国内外のファッション写真家・アーティスト

30名以上が参加、300点もの美しいオリジナルプリント展示からなる国際的なスケールのエキシビジョンとなっている。出展作家には、ロレアル、クロエ、ニコル

などの広告からマライヤ・キャリーやシーラEなどのアーティストも手がけるロサンゼルス出身のフィリップ・ディクソンを始め、カレル・フォンテン、ブルーノ、ホルスト、アンソニー・ゴードン。日本からは伊島薫、小林和弘、ホンマタカシ、宮本一郎、半沢克夫、森川昇ほか。時代の美意識ともいえるファッション写真の集大成がここにある。

### ●神戸国際ファッション写真展'93

〈期間〉開催中～9月12日  
〈会場〉神戸ファッションタウン（神戸ポートアイランド内）  
〈入場料〉メイン会場／大人1,000円・学生800円・中学生以下400円 サブ会場／無料  
〈交通〉ポートライナー・南公園駅下車徒歩2分他



## ●ガラスの動物園 遠い記憶が 語りかけて来る。

過去を捨て去ったある男の物語。  
近鉄劇場自主公演「ガラスの動物園」

ひとの記憶とは、忘れない過去とは、完全に葬り去ることが可能なのだろうか。1980年代のアメリカを舞台としたテネシー・ウィリアムズの作品「ガラスの動物園」は、おそらく世界的に最も有名で人気のある現代戯曲である。今もなおその作品自体の輝きが弱まることがないのは、青春、そして家族の絆という普遍的なテーマを取り扱っているからであり、日常の中に息づいた悩みや悲しみが観客にダイレクトに伝わるからであろう。この芝居をこまで現代の日本の社会にリアルに提示できるか。演出

かもしれない舞台である。

にオフ・ロードウェイで活躍中のマイケル・ブルームを迎え、人気と実力を兼ね備えた俳優たちの挑戦ともいえる演技が期待される。ナイフな主人公である青年を演じるのは第三舞台の看板俳優である寛利夫。厳しい現実の中で家族を混乱の嵐に巻き込む母親アマンダに緑魔子。外とのつながりを拒否する、足の悪い自閉症の娘に南里歩。そしてこの家族に希望の光となって現れる青年ジムに村田雄浩。誰もが心の奥底に持っている愛の記憶を、思い出さることが出来る。

〈日程〉9月26日(火)・29日(水)・30日(木)〈会場〉近鉄劇場(時間)7:00開演(料金)S席6,500円A席5,000円(チケット取扱近鉄フレイグアイド・チケットぴあ・チケットセン・関西フレイグアイド協会 近鉄劇場 06-771-1009)